

2010年関西圏新築マンション契約者動向調査

～価格の買い時感は減少したが、低金利が引き続き住宅購入のきっかけに～

2011年3月15日(火)

株式会社リクルート

分譲マンションカンパニー

カンパニー長 柳川昌紀

弊社では、新築分譲マンション市場の実態をつかむために、2003年より関西圏の新築分譲マンション契約者を対象とした調査を行っております。この度、2010年に契約された方の動向を取りまとめました。時系列比較をしながら、概要をご報告いたします。

- **調査開始以来10年間で、夫婦のみ世帯が増加** (→ 3P)
 - 世帯主年齢は平均36.8歳で、2009年から若干上昇。
 - 2001年からの10年間で、夫婦のみ共働き世帯(DINKS)の割合が徐々に増加、2010年は2001年から14ポイント増の29%。
- **大阪市内エリアに購入する割合は減少、北摂エリアなどが増加** (→ 4P)
 - 購入物件所在地は、大阪市内エリア26%、北摂エリア21%、神戸市以西エリア14%。
 - 大阪市内エリアは2009年から11ポイント減少、北摂エリア、神戸市以西エリア、東大阪・奈良エリアがそれぞれ増加。
- **平均購入価格は上昇に転じ、3,339万円に** (→ 5P)
 - 平均購入価格は3,339万円で、2年連続の低下となった2009年から67万円上昇。
 - 阪神間エリア、東大阪・奈良エリア、京都エリアは平均購入価格が大幅に上昇。北摂エリアは100万円以上低下。
- **自己資金、贈与額ともに前年より増加**
 - 自己資金の平均は860万円で、2年連続低下となった2009年から77万円増。贈与額は84万円増の696万円。(→ 6P)
 - 借入額はほぼ横ばいの2,694万円に。(→ 7P)
- **購入理由として「価格が安く買い時」は減少、「金利が低く買い時」はほぼ前年並み**
 - 購入理由で「価格が安くなり買い時」は2009年から11ポイントの大幅減、「税制が有利で買い時」も4ポイント減。(→ 8P)
 - 「金利が低く買い時」は、2009年とほぼ同じ。
 - 購入重視項目で、「価格」のトップは変わらず。(→ 9P)
- **中古マンションとの並行検討者は4割強** (→ 10P)
 - 「中古マンション」の検討率は43%で、2003年から12ポイント増。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

<<目次>>

調査概要	2
2010年調査のトピックス		
1	契約世帯主の属性 3
2	購入物件所在地 4
3	購入価格 5
4	自己資金 6
5	借入金 7
6	住まいの購入理由 8
7	重視項目 9
8	検討住宅種別 10

<<調査概要>>

■調査目的 ... 関西圏新築分譲マンション契約者の購入物件・購入行動・購入意識など購入動向を把握する

■調査対象 ... 2010年1月～2010年12月の関西圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県・滋賀県)
 新築分譲マンション購入契約者
 ※2010年1月～2010年12月の契約者の確認
 ⇒ 回答票に契約書等(契約日・物件所在地が確認できる書類)コピーの添付を依頼

■調査方法

△協力依頼 ... 関西圏各種メディアを通して調査対象者へ協力依頼
 一般新聞広告／タウン誌広告／電車内中広告／SUUMO新築マンション／SUUMO(Web)

△調査票の送付 ... 協力意向者に対して郵送にて送付

△調査票の返送 ... 郵送法

■集計対象期間 ... 2010年1月～2010年12月

■集計数 ... 計1,967件

【経年のデータについて】
 年によって調査方法や対象の物件種別は異なるが、各年とも新築マンション契約者のサンプルのみで集計している。
 ※2003年～2006年は、全住宅購入契約者を対象とした調査(項目は全物件種共通)を一次調査、新築マンション契約者のみを対象とした調査を二次調査として実施。2007年からは一次・二次をまとめ、一括で実施。2009年4月からは調査対象を新築マンション契約者のみに限定。

2009年契約者	: 922件	(2010年3月発表)
2008年契約者	: 1,071件	(2009年4月発表)
2007年契約者	: 1,035件	(2008年4月発表)
2006年契約者	: 1,603件(うち二次調査:1,489件)	
2005年契約者	: 1,248件(うち二次調査: 936件)	
2004年契約者	: 1,146件(うち二次調査: 870件)	
2003年契約者	: 1,648件(うち二次調査:1,276件)	
2002年契約者	: 1,473件(うち二次調査:1,204件)	} ※調査開始が2003年からであるため、2001・2002年契約者分は、2003年以降の調査で回収した。
2001年契約者	: 1,500件(うち二次調査:1,388件)	

※ 調査データを引用する際は、「2010年関西圏新築マンション契約者動向調査(株式会社リクルート)」と明記をお願いいたします。

1. 契約世帯主の属性

調査開始以来10年間で、夫婦のみ世帯が増加

- ▶ 2010年に関西圏で新築マンションの購入契約をした世帯の世帯主年齢は「30～34歳」が最も多く31%、次いで「35～39歳」の24%。2009年と比較して「50歳以上」がやや増加した。平均年齢は36.8歳。
- ▶ 契約者のライフステージでは「第一子小学校入学前世帯」が31%で最も多く、「夫婦のみ共働き世帯(DINKS)」が29%で続く。首都圏に比べ、関西圏では夫婦のみ世帯の割合が4ポイント低い。
- ▶ 構成比は2009年からはあまり変わらないが、2001年からの10年間でみると、「夫婦のみ共働き世帯(DINKS)」が徐々に増加する傾向がみられ、2001年からは14ポイントの増加となった。

■契約時世帯主年齢(全体/実数回答)

	20代	30～34歳	35～39歳	40代	50歳以上	無回答	平均(歳)
●凡例							
2010年契約者全体 (n=1967)	17.4%	31.2	23.9	17.6	9.8	0.2	36.8
2009年契約者全体 (n= 922)	19.0	31.8	22.9	19.1	7.3		36.2
2008年契約者全体 (n=1071)	24.3	31.7	21.6	15.6	6.8		35.3
2007年契約者全体 (n=1035)	21.3	34.2	23.2	15.7	5.6	0.1	35.3
2006年契約者全体 (n=1603)	22.0	35.6	20.6	15.3	6.0	0.5	35.3
2005年契約者全体 (n=1248)	19.7	34.7	19.1	18.3	8.1	0.2	36.1
2004年契約者全体 (n=1146)	21.2	36.0	18.9	15.5	7.8	0.6	35.6
2003年契約者全体 (n=1648)	22.1	30.8	21.7	17.5	7.8	0.2	36.0
2002年契約者全体 (n=1473)	22.3	28.4	20.9	18.5	9.6	0.2	36.6
2001年契約者全体 (n=1500)	23.5	25.3	18.6	17.9	14.5	0.2	37.6
【参考】2010年首都圏契約者全体 (n=4035)	16.6	33.1	24.0	19.7	6.4	0.2	36.2

(単位: %)

■ライフステージ(全体/単一回答)

	シングル世帯		夫婦のみ世帯		子供あり世帯		シニアカップル世帯	その他・不明	シングル世帯計	夫婦のみ世帯計	子供あり世帯計
	シングル男性世帯	シングル女性世帯	夫婦のみ共働き世帯(DINKS)	夫婦のみ専業主婦世帯	第一子小学校入学前世帯	第一子小学生以上世帯					
●凡例											
2010年契約者全体 (n=1967)	5.1%	7.4	29.1	7.7	30.6	10.5	3.7	5.8	12.6	36.9	41.0
2009年契約者全体 (n= 922)	5.0	6.8	29.1	8.5	31.5	10.4	3.5	5.3	11.8	37.5	41.9
2008年契約者全体 (n=1071)	5.6	5.5	27.6	8.5	33.3	9.2	2.8	7.4	11.1	36.1	42.6
2007年契約者全体 (n=1035)	5.4	4.4	25.2	9.6	35.7	11.3	2.3	6.0	9.9	34.8	47.1
2006年契約者全体 (n=1603)	5.0	5.4	23.6	10.0	35.9	10.9	2.6	6.6	10.4	33.6	46.8
2005年契約者全体 (n=1248)	5.4	6.2	21.3	10.2	33.0	11.9	3.6	8.3	11.6	31.5	45.0
2004年契約者全体 (n=1146)	5.5	8.7	22.9	10.6	30.8	12.7	2.8	5.9	14.2	33.5	43.5
2003年契約者全体 (n=1648)	5.5	7.8	21.8	11.1	29.8	15.5	2.5	6.0	13.2	32.9	45.3
2002年契約者全体 (n=1473)	5.4	7.1	19.0	10.5	29.8	17.5	4.5	6.2	12.6	29.5	47.3
2001年契約者全体 (n=1500)	6.4	7.1	15.3	9.7	28.5	21.2	5.9	5.9	13.5	25.0	49.7
【参考】2010年首都圏契約者全体 (n=4035)	7.1	5.7	31.4	9.7	28.6	9.6	2.1	5.9	12.8	41.1	38.1

(単位: %)

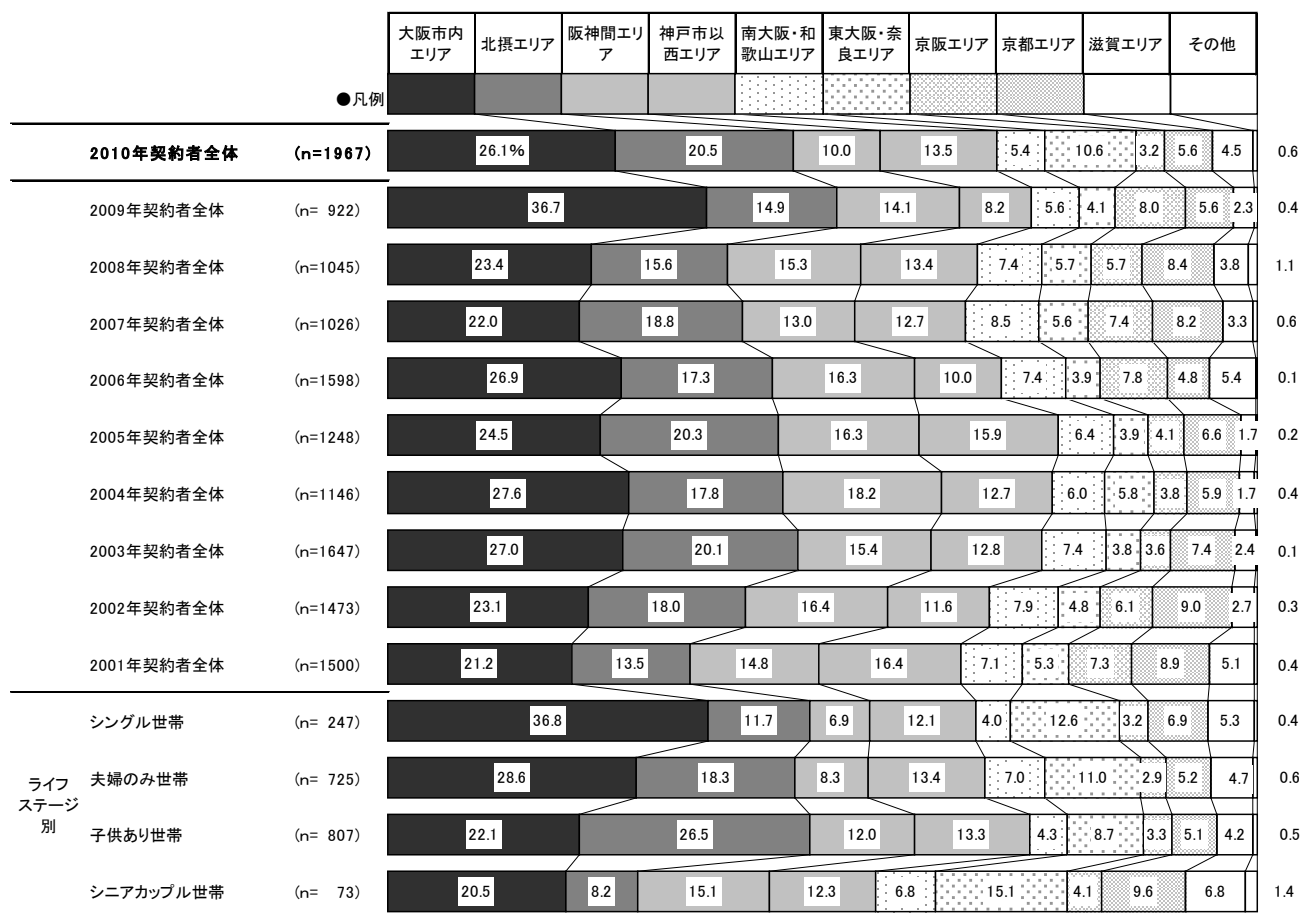
※「シニアカップル世帯」は、世帯主年齢が50歳以上の夫婦のみ世帯
 ※「夫婦のみ世帯計」からは、上記「シニアカップル世帯」を除外している

大阪市内エリアの割合は減少、北摂エリアなどが増加

2. 購入物件所在地

- ▶ 購入した物件の所在地は「大阪市内エリア」が26%で最も多く、以下「北摂エリア」(21%)、「神戸市以西エリア」(14%)、「東大阪・奈良エリア」(11%)、「阪神間エリア」(10%)となっている。
- ▶ 「大阪市内エリア」は2009年に13ポイント増加したが、2010年は11ポイントの減少となった。他のエリアをみると、「北摂エリア」「神戸市以西エリア」「東大阪・奈良エリア」が2009年から増加し、「阪神間エリア」「京阪エリア」が減少している。
- ▶ ライフステージ別にみると、シングル世帯では「大阪市内エリア」が特に多く37%を占める。子供あり世帯では「北摂エリア」、シニアカップル世帯では「阪神間エリア」や「東大阪・奈良エリア」の割合が全体に比べて高い。

■購入物件所在地(全体/単一回答)



(単位: %)

エリア区分は市区郡を元に次のように分類している:

大阪市内エリア	【大阪府】 大阪市
北摂エリア	【大阪府】 豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、三島郡、豊能郡 【兵庫県】 川西市、川辺郡
阪神間エリア	【兵庫県】 尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、篠山市
神戸市以西エリア	【兵庫県】 神戸市、姫路市、明石市、加古川市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市
南大阪・和歌山エリア	【大阪府】 堺市、泉南市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、和泉市、羽曳野市、高石市、藤井寺市、大阪狭山市、泉北郡、泉南郡、南河内郡 【和歌山県】 (全域)
東大阪・奈良エリア	【大阪府】 東大阪市、八尾市、柏原市 【奈良県】 (全域)
京阪エリア	【大阪府】 交野市、四條畷市、守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市
京都エリア	【京都府】 (全域)
滋賀エリア	【滋賀県】 (全域)
その他	上記以外の大阪府、兵庫県

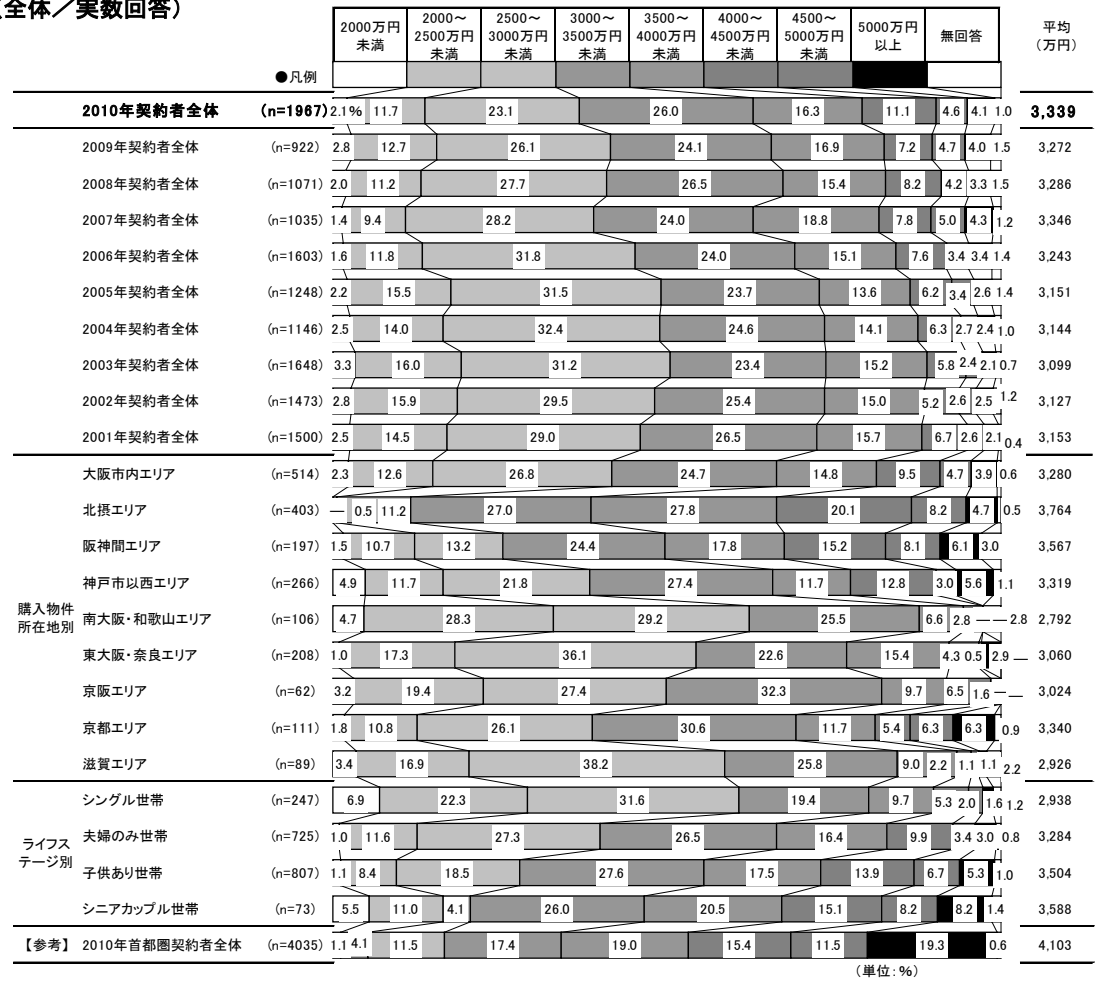
- ※2008年のデータは、購入物件の所在エリアが大阪府・兵庫県だが市区郡不明というサンプルが26サンプルあったため、それを除いた1045サンプルで集計している。
- ※2007年のデータは、購入物件の所在エリアが大阪府だが市区郡不明というサンプルが9サンプルあったため、それを除いた1026サンプルで集計している。
- ※2006年のデータは、購入物件の所在エリアが大阪府だが市区郡不明というサンプルが5サンプルあったため、それを除いた1598サンプルで集計している。
- ※2003年のデータは、購入物件の所在エリアが兵庫県だが市区郡不明というサンプルが1サンプルあったため、それを除いた1647サンプルで集計している。

3. 購入価格

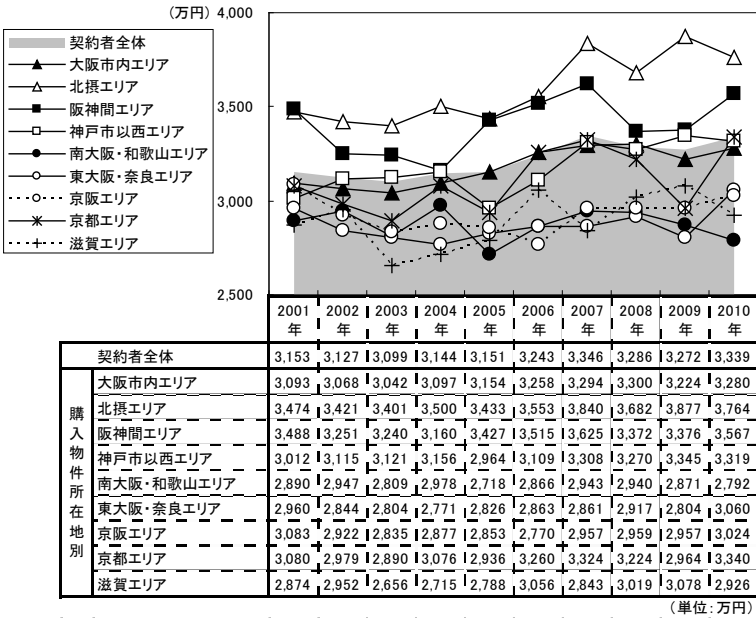
平均購入価格は上昇に転じ、3,339万円に

- ▶ 購入価格は「3,000～3,500万円未満」が最も多く26%、ついで「2,500～3,000万円未満」の23%。
- ▶ 平均購入価格は3,339万円。2008年から2年連続低下していたが、2010年は67万円の増加となった。首都圏と比べ、関西圏の平均購入価格は764万円低い。
- ▶ 購入物件の所在地別にみると、北摂エリアが3,764万円で最も高い。所在地別の平均購入価格の推移をみると、阪神間エリア、東大阪・奈良エリア、京都エリアは2009年から200万円弱～400万円弱の大幅上昇。一方、北摂エリアは113万円の低下となった。

■購入価格(全体/実数回答)



■平均購入価格の推移

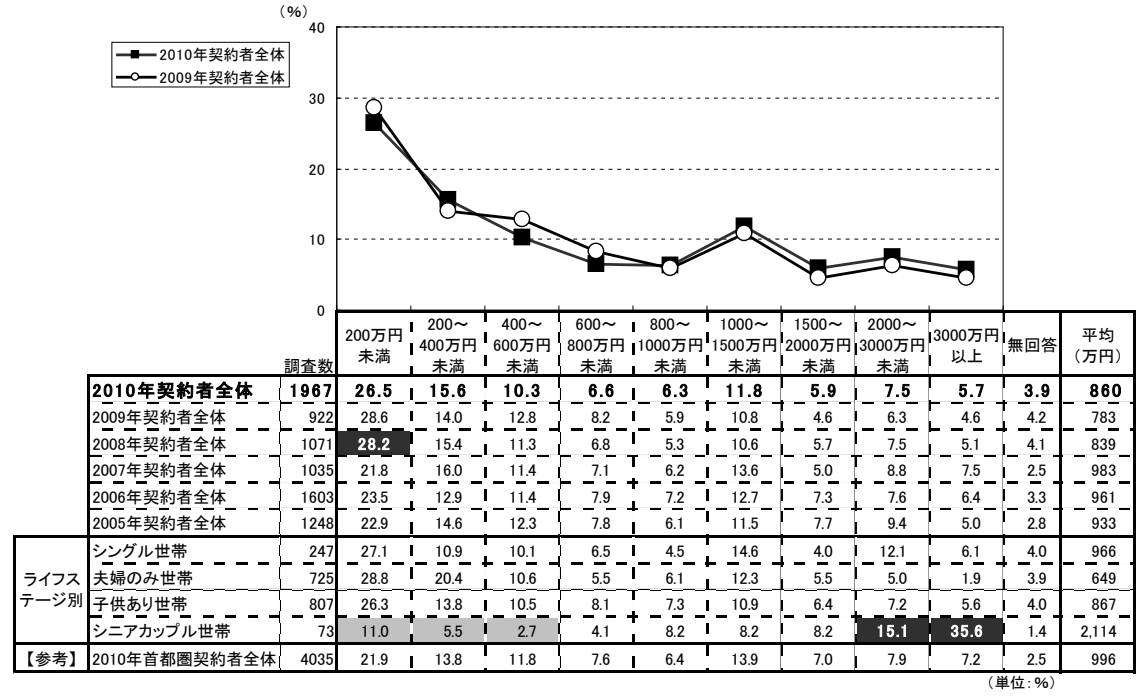


【参考】調査数

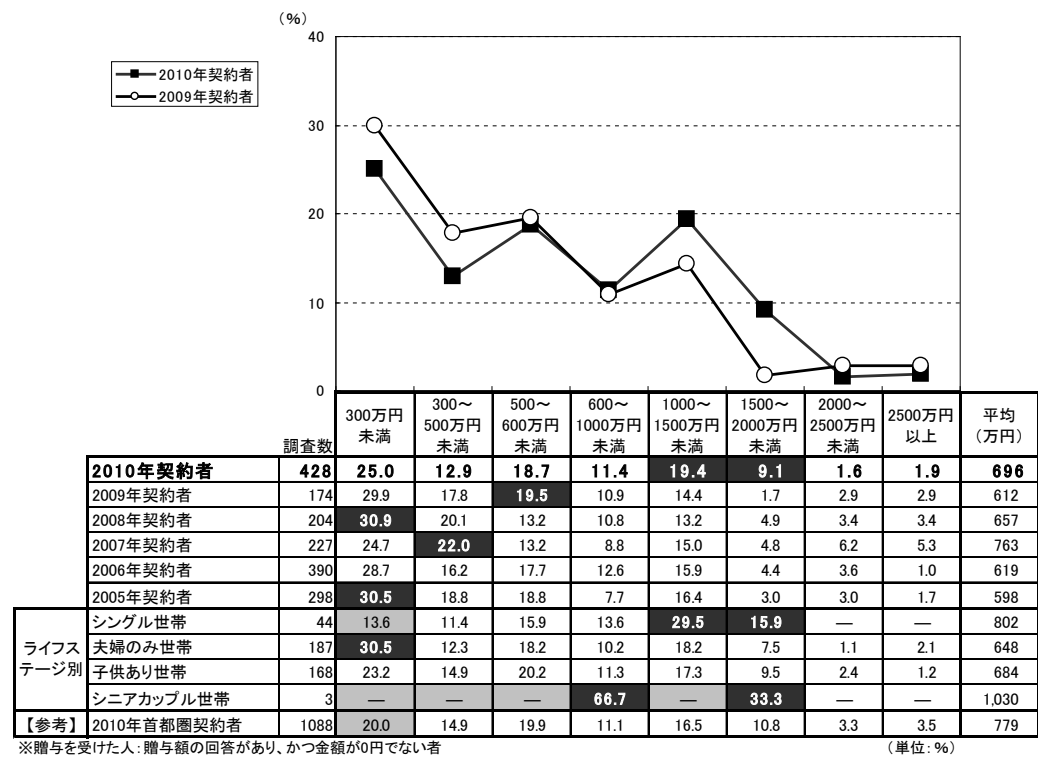
購入物件所在地別	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
契約者全体	1,500	1,473	1,648	1,146	1,248	1,603	1,035	1,071	922	1,967
大阪市内エリア	318	340	445	316	306	430	226	245	338	514
北摂エリア	202	265	331	204	253	276	193	163	137	403
阪神間エリア	222	242	253	208	204	260	133	160	130	197
神戸市以西エリア	246	171	210	146	199	160	130	140	76	266
南大阪・和歌山エリア	107	117	122	69	80	119	87	77	52	106
東大阪・奈良エリア	79	71	62	66	49	63	57	60	38	208
京阪エリア	110	90	60	44	51	125	76	60	74	62
京都エリア	134	133	122	68	82	76	84	88	52	111
滋賀エリア	76	40	40	20	21	87	34	40	21	89

- ▶ 自己資金(頭金)の平均額は860万円で、過去最低額だった2009年から77万円の増加となった。平均額は首都圏に比べ136万円低い。
- ▶ 自己資金の一部である贈与についてみると、贈与額の平均は2008年から2年連続で低下していたが、今回84万円上昇し、696万円となった。分布をみると、1,000~2,000万円未満の割合が29%と、2009年から12ポイント増加している。

■ 自己資金(全体/実数回答)



■ 贈与額(贈与を受けた者/実数回答)

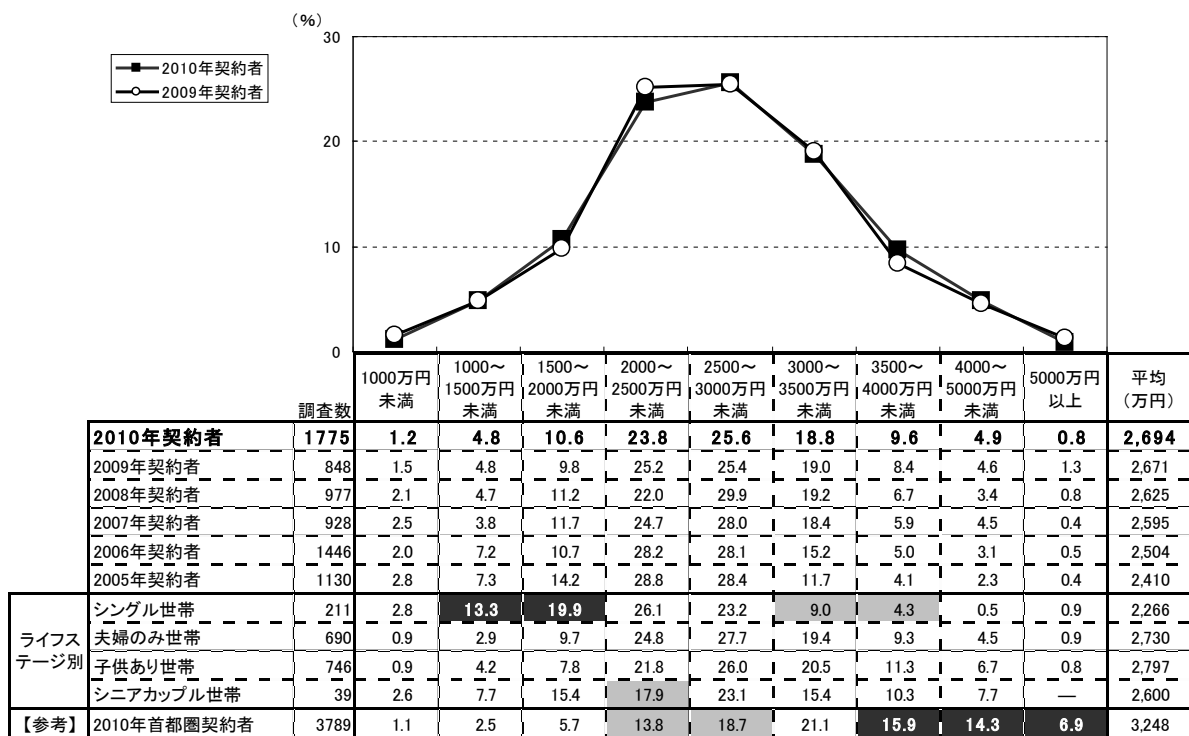


<表の網掛けについて>

- 50.0 …(時系列) 前年より5ポイント以上増加 / (属性別) 全体値より5ポイント以上高い / (首都圏) 関西圏の全体値より5ポイント以上高い
- 50.0 …(時系列) 前年より5ポイント以上減少 / (属性別) 全体値より5ポイント以上低い / (首都圏) 関西圏の全体値より5ポイント以上低い

- ▶ ローン借入者を対象に借入総額をみると、「2,500～3,000万円未満」が26%で最も多く、「2,000～2,500万円未満」が24%、「3,000～3,500万円未満」が19%で続く。平均は2,694万円で、2009年から23万円の上昇。平均額を首都圏と比べると554万円低い。
- ▶ ローン借入総額をライフステージ別にみると、シングル世帯は1,000～2,000万円未満で3割強を占め、平均額は2,266万円と他属性に比べ低くなっている。

■ローン借入総額(ローン借入者/実数回答)



※ローン借入者：ローン借入総額の回答があり、かつ金額が0円でない者

(単位：%)

<表の網掛けについて>

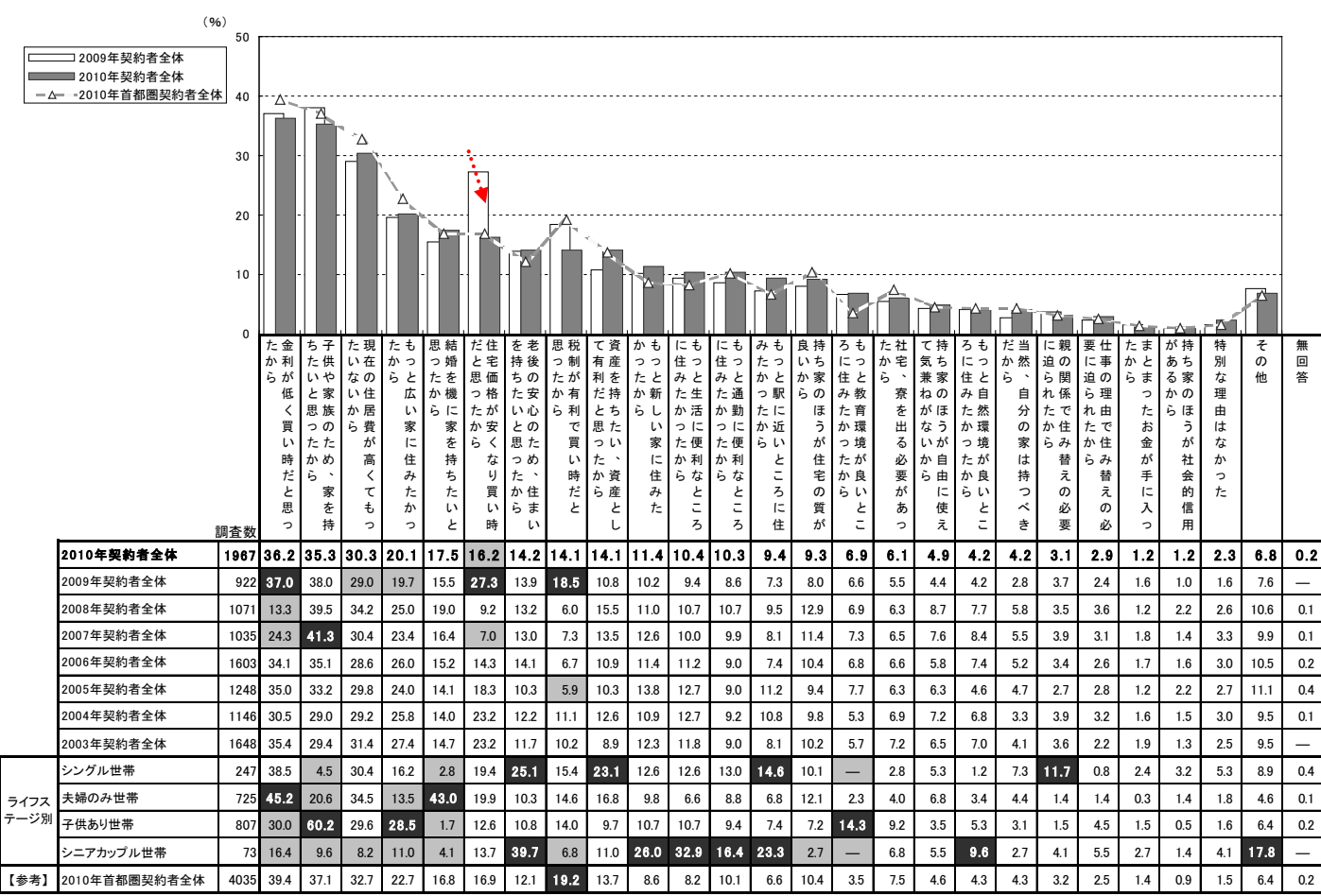
50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上増加 / (属性別)全体値より5ポイント以上高い / (首都圏)関西圏の全体値より5ポイント以上高い

50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上減少 / (属性別)全体値より5ポイント以上低い / (首都圏)関西圏の全体値より5ポイント以上低い

6. 住まいの購入理由 「価格が安く買い時」は減少、「金利が低く買い時」はほぼ前年並み

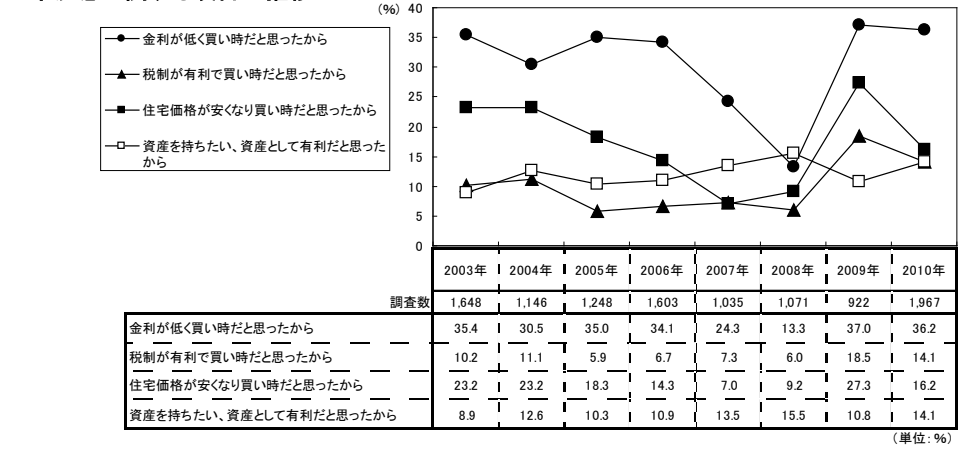
- ▶ 住まいの購入を思い立った理由は、「金利が低く買い時だと思ったから」が最も多く36%。以下「子供や家族のため、家を持ちたいと思ったから」(35%)、「現在の住居費が高くてもったいないから」(30%)と続く。
- ▶ 市況感に関する項目に着目すると、「住宅価格が安くなり買い時だと思ったから」が2009年から11ポイント減少。「税制が有利で買い時だと思ったから」も4ポイント減少した。一方、「金利が低く買い時だと思ったから」はほぼ前年並み、「資産を持ちたい、資産として有利だと思ったから」は3ポイント増となっている。
- ▶ ライフステージ別にみると、シングル世帯では「老後の安心のため」「資産を持ちたい」「もっと駅に近いところに住みたい」、夫婦のみ世帯では「金利が低く買い時」「結婚を機に家を持ちたい」、子供あり世帯では「子供や家族のため、家を持ちたい」「もっと広い家に住みたい」「もっと教育環境が良いところに住みたい」といった理由が、それぞれ全体値より高くなっている。

■購入理由(全体/3つまでの限定回答)



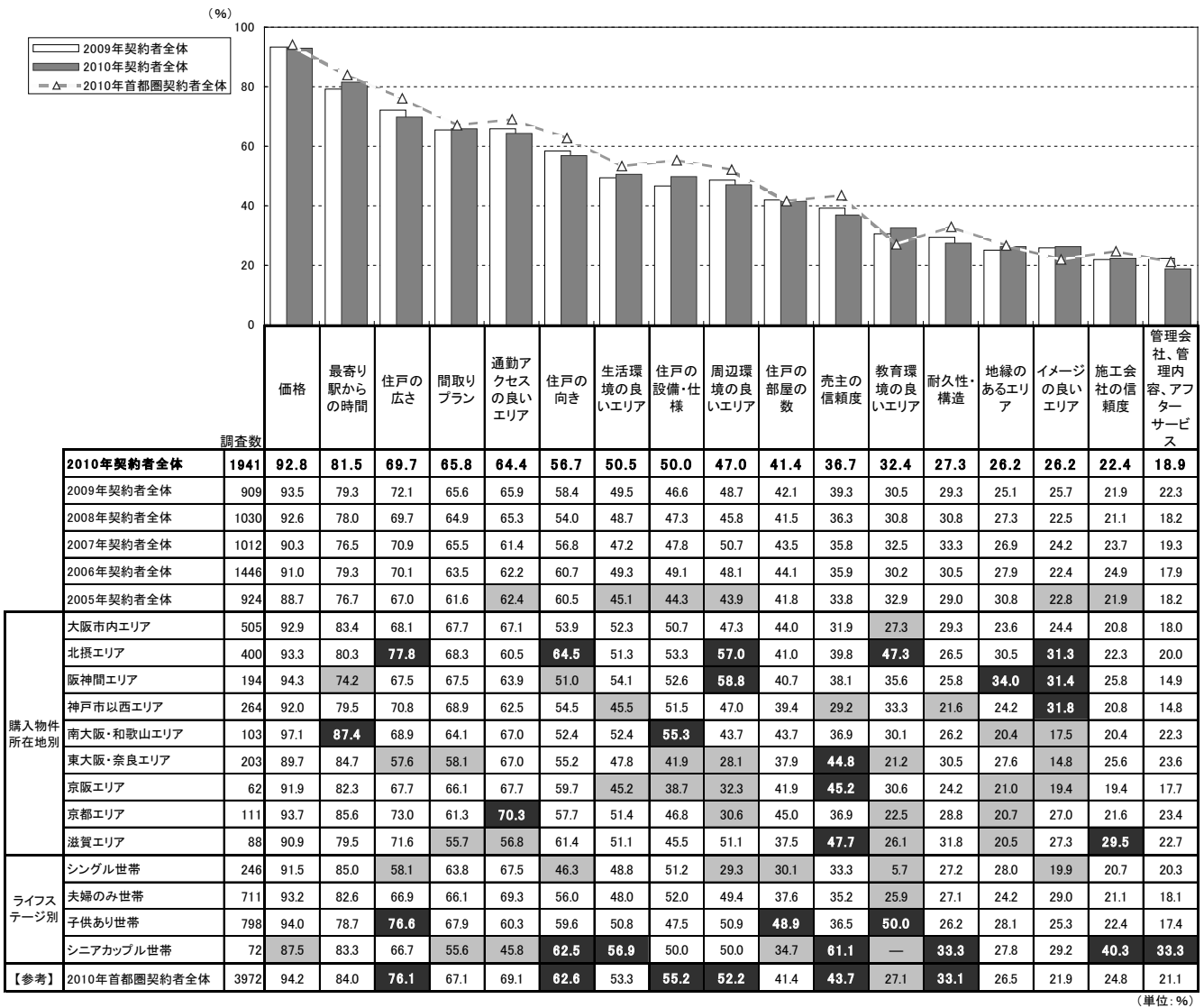
＜表の網掛けについて＞
50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上増加 / (属性別)全体値より5ポイント以上高い / (首都圏)関西圏の全体値より5ポイント以上高い
50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上減少 / (属性別)全体値より5ポイント以上低い / (首都圏)関西圏の全体値より5ポイント以上低い

■市況感に関する項目の推移



- ▶ 物件を検討するうえで重視した項目は、「価格」が93%で最も高く、以下「最寄り駅からの時間」(82%)、「住戸の広さ」(70%)、「間取りプラン」(66%)と続く。首都圏と比較すると、「教育環境の良いエリア」は高く、「住戸の広さ」などは低い。
- ▶ 購入物件所在地別にみると、北摂エリアでは「周辺環境の良いエリア」「教育環境の良いエリア」の重視度が全体を10ポイント以上上回るほか、「住戸の広さ」「住戸の向き」「イメージの良いエリア」の重視度も高い。阪神間エリアでも「周辺環境の良いエリア」は全体を10ポイント以上上回る。
- ▶ ライフステージ別にみると、子供あり世帯では「住戸の広さ」「住戸の部屋の数」「教育環境の良いエリア」の重視度が全体値より高い。シニアカップル世帯は、「売主の信頼度」「施工会社の信頼度」「管理会社、管理内容、アフターサービス」の重視度が全体を10ポイント以上上回るほか、「住戸の向き」「生活環境の良いエリア」「耐久性・構造」なども高くなっている。

■購入重視項目(全体、無回答を除く/複数回答)



(単位: %)

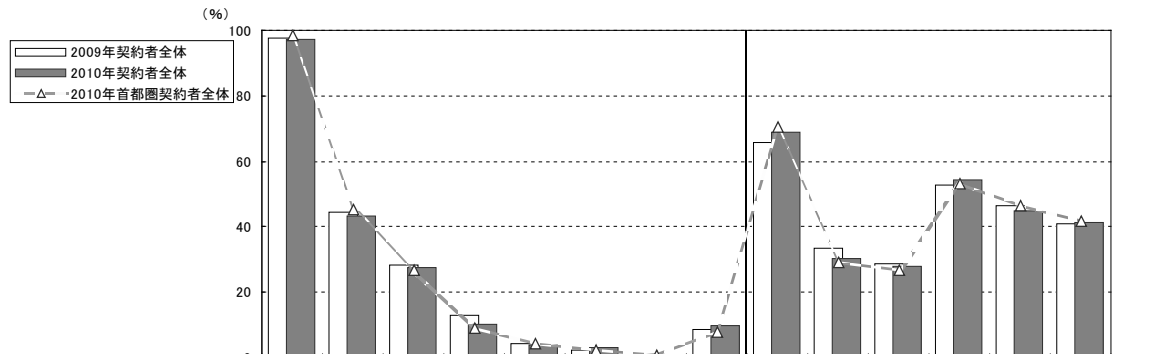
<表の網掛けについて>

- 50.0** …(時系列)前年より5ポイント以上増加 / (属性別)全体値より5ポイント以上高い / (首都圏)関西圏の全体値より5ポイント以上高い
- 50.0** …(時系列)前年より5ポイント以上減少 / (属性別)全体値より5ポイント以上低い / (首都圏)関西圏の全体値より5ポイント以上低い

※購入重視項目は2006年まで二次調査項目のため、2006年契約者までは二次調査回答者ベースとなっている。

- ▶ 具体的に検討した住宅の種別をみると、新築マンション以外では「中古マンション」が最も多く、43%。「中古マンション」を検討する割合は2009年とほぼ同程度で、2003年と比べると12ポイント増となっている。
- ▶ 購入物件所在地別にみると、中古住宅検討率は神戸市以西エリアと京都エリアで高い。一方、北摂エリアでは「新築一戸建て」の検討率が高くなっている。

■具体的に検討した住宅種別(全体/複数回答)



調査数	検討住宅種別 ※1								並行検討状況 ※2						無回答	
	1	2	3	4	5	6	7	8	集合住宅のみ検討	戸建住宅のみ検討	新築一戸建て検討	新築住宅のみ検討	中古住宅のみ検討	新築マンションのみ検討		
	新築マンション	中古マンション	新築一戸建て	中古一戸建て	土地購入注文	条件付宅地	土地所有注文	賃貸住宅								
2010年契約者全体	1967	97.3	43.4	27.4	10.4	4.0	3.2	0.5	9.8	88.8	30.5	27.8	54.3	45.0	41.2	0.3
2009年契約者全体	922	97.6	44.3	28.5	12.9	4.2	2.4	1.0	8.5	65.9	33.5	28.7	52.8	46.6	41.0	0.3
2008年契約者全体	1071	97.6	41.7	28.1	12.3	3.5	2.9	0.9	7.9	66.9	32.6	28.6	55.1	44.4	41.9	0.2
2007年契約者全体	1035	97.6	36.7	31.0	12.9	4.0	3.6	0.4	7.8	65.0	34.7	31.5	60.1	39.6	43.1	0.1
2006年契約者全体	1603	96.4	32.6	30.4	9.6	3.8	2.2	1.1	8.2	66.0	33.3	30.8	64.4	34.9	47.5	0.4
2005年契約者全体	1248	98.4	32.0	30.4	9.8	3.2	2.8	0.6	6.3	66.5	33.1	30.7	65.8	33.8	48.1	0.2
2004年契約者全体	1146	95.3	32.9	29.0	11.1	4.1	3.0	0.9	7.5	66.1	32.3	29.2	62.7	35.7	46.2	0.8
2003年契約者全体	1648	96.4	31.3	30.0	10.9	4.2	2.1	0.7	*	65.0	33.8	30.5	63.7	35.1	46.4	0.4
購入物件所在地別																
大阪市内エリア	514	97.5	44.7	21.2	8.6	3.7	2.5	0.2	9.5	75.7	23.5	21.8	53.5	45.7	43.2	0.2
北摂エリア	403	98.3	41.2	35.7	11.2	5.5	3.7	1.0	8.7	62.0	38.0	35.7	56.8	43.2	39.7	—
阪神間エリア	197	97.5	45.2	26.4	9.1	3.6	3.6	0.5	6.6	68.5	31.5	27.9	53.8	46.2	38.6	—
神戸市以西エリア	266	96.2	50.0	25.2	12.8	3.4	2.3	0.8	12.8	68.8	29.7	25.6	47.4	51.1	38.0	0.8
南大阪・和歌山エリア	106	96.2	44.3	28.3	8.5	1.9	2.8	—	18.9	64.2	34.0	29.2	51.9	46.2	35.8	0.9
東大阪・奈良エリア	208	96.6	28.8	29.8	10.1	3.8	2.4	—	8.7	67.8	31.7	29.8	68.3	31.3	51.9	—
京阪エリア	62	96.8	41.9	29.0	12.9	1.6	3.2	—	9.7	66.1	33.9	29.0	56.5	43.5	41.9	—
京都エリア	111	97.3	53.2	28.8	13.5	6.3	8.1	0.9	9.0	67.6	32.4	28.8	43.2	56.8	30.6	—
滋賀エリア	89	96.6	44.9	23.6	12.4	4.5	3.4	—	5.6	71.9	25.8	23.6	50.6	47.2	43.8	1.1
ライフステージ別																
シングル世帯	247	95.1	44.1	6.1	2.8	1.2	0.4	0.4	10.9	90.7	7.7	6.1	53.4	44.9	50.2	0.4
夫婦のみ世帯	725	97.8	45.4	26.2	9.7	2.5	2.6	0.1	13.8	69.9	29.4	26.8	52.7	46.6	41.1	0.1
子供あり世帯	807	97.3	41.9	37.4	13.8	6.3	4.8	0.7	7.2	58.9	40.6	37.9	55.4	44.1	36.7	0.4
シニアカップル世帯	73	100.0	32.9	6.8	6.8	4.1	—	1.4	1.4	84.9	15.1	6.8	64.4	35.6	57.5	—
【参考】2010年首都圏契約者全体	4035	98.3	45.3	26.6	8.9	4.4	2.4	0.6	8.0	70.4	29.3	26.8	53.3	46.4	41.9	0.1

※*は該当項目なし

(単位:%)

<表の網掛けについて>

- 50.0** …(時系列)前年より5ポイント以上増加 / (属性別)全体値より5ポイント以上高い / (首都圏)関西圏の全体値より5ポイント以上高い
- 50.0** …(時系列)前年より5ポイント以上減少 / (属性別)全体値より5ポイント以上低い / (首都圏)関西圏の全体値より5ポイント以上低い

※1 <住宅検討種別について> 新築マンション契約者が、具体的に検討した住宅を種別ごとに集計

・選択肢の文言に関する補足

- 5「土地購入注文」 …建築条件なしの土地を購入して注文建築
- 6「条件付宅地」 …建築条件付の土地*を購入して注文建築 (*施工会社があらかじめ決まっている土地)
- 7「土地所有注文」 …所有している土地に注文建築
- 8「賃貸住宅」 …2004年契約者から選択肢を追加

※2 <並行検討状況について> 新築マンション契約者が、並行して検討した住宅の分野ごとに集計

・分野に関する補足:賃貸住宅を除く検討住宅種別(1~7)の選択状況によって、下記の通り分類

- ・集合住宅のみ検討 1または2に○、3~7のいずれも×
- ・戸建住宅のみ検討 3~7のいずれかに○
- ・新築一戸建て検討 3または6に○
- ・新築住宅のみ検討 1、3、5、6、7のいずれかに○、2、4のいずれも×
- ・中古住宅のみ検討 2または4に○
- ・新築マンションのみ検討 1のみに○、2~7のいずれも×